

第6回 岩盤不連続面の室内せん断試験方法基準化 WG

日 時：平成19年12月10日（金）13：00～17：20

場 所：地盤工学会 3階中会議室

出席者：

江崎，（楠見），（上西），岡田，鈴木，（西山），平川，（船戸），矢島，矢野，吉田，（若林），三谷<カッコは欠席者，敬称略>

配付資料

資料6 - 0：第6回 WG 議題書

資料6 - 1：第5回 WG 議事録

資料6 - 2：岩盤不連続面の室内せん断試験方法 英語版

資料6 - 3：岩盤不連続面の室内せん断試験方法解説

資料6 - 4：「3．試験装置」解説試案

議事内容

1．第5回議事録確認

- ・前回の議事録およびこれまでの経過について確認を行った。

2．室内せん断試験方法基準英語版について

- ・英文のタイトルの Rock Joint を Rock Discontinuity に変更する。
（不連続面については，Discontinuity で統一する）
- ・Fig.1 の Loading Axis という表現は，Loading shaft などの表現に変更する。
- ・Fig.3,4 中の Shear loading is stopped については，削除する。これに伴い基準（日本語版）の図も変更する。
- ・その他，再度各メンバーで一読いただき，修正すべき点がないか確認を行う。
- ・最終的には，12/31 の時点で基準に対する意見が出されない場合には，本英文の基準を Native Check に回して，最終版を確定する。

3．室内せん断試験方法基準解説について

「1．適用範囲」については，江崎先生から修正原稿をいただく。特に強度特性に限定することが欠けているので，追記すること。「5．試験方法」の最初の部分（せん断試験の種類など）をこの節に組み込む。

「2．定義」については，再度，原稿が完成後，問題ないか確認をとるとともに，江崎先生からの修正案をいただく。

「３．試験装置」について、矢野先生、岡田さんより、修正版の原稿が提出された。ここでは、せん断箱、載荷装置の２点について解説を行うこと、それぞれについて形式と事例を示すこととなった。また、最後に国内の一面せん断試験装置の一覧表を作成することとなった。これについては、矢野先生よりひな形の提示があるので、各メンバーの装置について記載することとなった。

「４．供試体」については、せん断面積の計測方法（トレースに関する部分）についての追記、試料の設置方法について三谷から鈴木さんへの情報提供を行う。また、「７.１ 試料に関する事項」の部分を「４.１ 試料・供試体の測定・観察」の中に入れることとする。また、レプリカの供試体については、本節の最後に項目を追加し、記載する。その他については、基本的に問題はないので、再度、内容について確認を行うこととする。

「５．試験方法」について、基本的には問題ないので、書式を他の節と同様に修正すること、一部、三谷が他の節に移動している項目があるので、それを再度この節に戻し、最終調整を行う。せん断面積の影響やモデルの項目については、「６．試験結果の整理」の節に移動させる。「５.４ その他の試験方法」については、最後に「７．その他の試験方法」として最終節を新しく作成し、そこで記述することになった。担当は、「７．報告事項」の解説を省略することとなったので、上西先生、矢島さんをお願いする。

「６．試験結果の整理」については、具体的な事例などを加えてもう少し手を加えることとなった。

「７．報告事項」については、前述のとおり、ほとんどの項目については、それまでに記載されること、また、他の基準等でも記載がないことを考慮して、特に解説では記載しないこととなった。

４．今後の予定

来年 １月１５日までに、今回の修正項目を完成させ、三谷まで送付する。

１月末までに三谷が全体調整を行い、旧岩の基準化委員会メンバーに送付し査読を依頼する。査読には、約１ヶ月程度かかる見込み。

３月中に上記査読結果を受けて、最終調整を行う（メール審議）。

最後に ３／２８に最終委員会を行い、メンバーの承認をとる。

基準および解説については、５月の室内試験規格・基準委員会に提出のため、時間的には少し余裕があるが、WGは３月の時点で解散となる。

５．その他

次回委員会： ３／２８（金）

以上